

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東横イン浜松駅南口ビル新築	階数	地上14階、地下0階
建設地	静岡県浜松市中区砂山町329番3、4	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	286人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年10月 予定	評価の実施日	2020年11月30日
敷地面積	965㎡	作成者	日創アーキテクト 鳥井
建築面積	509㎡	確認者	
延床面積	5,219㎡		



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR のスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
周辺との調和がとれるように外構を計画し、景観にも配慮し落ち着いた色彩とした		
Q1 室内環境 内装仕上げ材にはF☆☆☆☆を使用することで化学汚染物質による空気汚染を防いでいる。分煙については共用部は禁煙とし喫煙可能な客室を階で分けることで非喫煙者が煙に曝されないようにしている。	Q2 サービス性能 各居室はカテゴリ5eクラスのブロードバンドの利用を可能としている。 建物の耐用年数を高めるため外壁、主要配管設備に耐用年数の長い部材を使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 空地の確保、室外機の多くの排熱を10mGL+10以上に設置することで地表表面温度の上昇を抑えている。
LR1 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制のため外壁にロックウール(t100)、最上階天井にポリスチレン板(t50)の断熱材を使用	LR2 資源・マテリアル 利用可能な水質であれば、地下水を雑用水として利用する。	LR3 敷地外環境 オール電化にすることで燃焼機器を設置しない計画とした。 電灯など設備の省エネルギー対策を行うことで消費電力を抑えCO2削減に努める。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	(仮称)東横イン浜松駅南口ビル新築工事	BEE	0.6	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度							
重点項目	得点 [※] /満点		取組み度		評価		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.1	/5			がんばろう		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.0	/5			ふつう		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.5	/5			がんばろう		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	1.9	/5			がんばろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上		ふつう 3 点以上	
					がんばろう 3 点未満		

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目				
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		得点		2.1		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)						
<p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④1階部は花崗岩、磁器質タイル、2階より上部は金属パネルを使用した。 ④期待耐用年数が高いものを使用した。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)</p> <p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦外壁はロックウールによる断熱、客室窓は複層ガラスとした。</p> <p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)</p> <p>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭設備の省エネによって環境負荷に配慮した。</p>	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能
	Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備
			3.2	3.2.1	③	昼光制御
	Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数
			2.2.2	2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔
		2.2.3	2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
		2.2.4	2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔	
		2.2.5	2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔	
		2.2.6	2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔	
		Q-3	1		⑤	生物環境の保全と創出
		3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
		LR-1	1		⑦	建物外皮の熱負荷抑制
		2			⑧	自然エネルギー利用
		3			⑨	設備システムの高効率化
		4	4.1		⑩	モニタリング
			4.2		⑩	運用管理体制
		LR-2	1	1.1	⑪	節水
			1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無
				1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無
		2	2.1	2.1.1	⑫	材料使用量の削減
				2.1.2	⑫	既存建築躯体等の継続使用
				2.1.3	⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用
				2.1.4	⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
				2.1.5	⑫	持続可能な森林から産出された木材
				2.1.6	⑫	部材の再利用可能性向上への取組み
		3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用
			3.2	3.2.1	⑬	消火剤
				3.2.2	⑬	断熱材
				3.2.3	⑬	冷媒
		LR-3	1		⑭	地球温暖化への配慮
		2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)		得点		3.0		
<p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)</p>	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性
			2.4	2.1.2	⑯	免震・制振性能
				2.4.1	⑰	空調・換気設備
				2.4.2	⑰	給排水・衛生設備
				2.4.3	⑰	電気設備
				2.4.4	⑰	機械・配管支持方法
				2.4.5	⑰	通信・情報設備
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)		得点		2.5		
<p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)</p>	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画
		3	3.1	3.1.1	⑲	階高のゆとり
				3.1.2	⑲	空間の形状・自由さ
		Q-3	3	3.1	⑲	地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)		得点		1.9		
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉑まちなみ・景観への配慮/㉒敷地内温熱環境の向上)</p>	Q-3	1		⑳	生物環境の保全と創出	
		2		㉑	まちなみ景観への配慮	
	3	3.2		㉒	敷地内温熱環境の向上	
		LR-3	2	2.2	⑳	温熱環境悪化の改善